南部中ホームページ （http://www.nanbu-chu.ed.jp/）はこちらから →

南部町立南部中学校　学校だより　R8第１１号

城山の風

令和8年9月25日（金）

校長　樋口信也

第16回輝城祭ー体育の部ー

輝城祭体育の部は、昨年に引き続き、雨のため１４日（月）に延期して実施しました。

今年は、クラス対抗の大縄跳びとムカデ競走、縦割り対抗の綱引きと全員リレーの計４種目行いました。早朝練習をやめ、さらに雨続きだったために体育の部の練習は十分にはできませんでした。クラス対抗種目は、雨の合間を縫って何回か練習できましたが、新種目の全員リレーの練習は、体育館で一度行っただけでした。

そんな状況でしたが、みんな一生懸命頑張って、練習の時よりも良い記録を出していました。全員リレーは、バトン渡しで混乱したために、仕切り直して２回目を行いました。来年に向けて、すでに改善に動き出しています。良い結果であれば素直に喜び、そうでないときもふて腐れたり、誰かを責めたりすることなく、みんなで競技を楽しんでいました。

今年も輝城祭を通して、生徒の新たな面に気づくことがありました。今年のテーマは開花でした。もしかしたら本人も気づいていないかもしれませんが、あちらこちらで開花を見ることができました。

クラスで、学年で、全校で、夢中になって取り組んだ輝城祭の思い出は、大人になっても色あせることはないでしょう。

卒業生が卒論のため内船歌舞伎を見学

９月９日（水）、本校卒業生の山本真凜さんが、内船歌舞伎保存会の山本純司会長とともに来校しました。現在大学４年生で、卒業論文で内船歌舞伎のことを調べていて、１年生の取組の様子を見学に来たとのことでした。この日は、総練習で衣装も着ていたので、ちょうどよかったようです。また、本人も子どもの頃に内船歌舞伎に出ていたという話も聞きました。卒業生が、地元の伝統文化を卒論に選び、母校に見学に来る・・・輝城祭で内船歌舞伎をして良かったと思う出来事の一つでした。






















